

気軽に町民が集まれるパスレルへ
令和6年4月に開館した山都町総合体育館「パスレル」。施設長として働く三浦浩志さんにお話を伺いました。

仕事内容は主にパスレルの運営および維持管理。その他にもカルチャー講座や子ども向けのキッズ講座の講師など業務は多岐に渡ります。パスレル内にはトレーニングルームがありますが、器具の使い方や体づくりに関するサポートをインストラクターとして長年培ってきた経験を生かし、利用者に優しく伝える姿が印象的でした。本格的なトレーニング以外でも、利用する意図は人それぞれなので誰でも気軽に利用してほしいと

人生のターニングポイント
はインストラクターとして
受けた指導者研修
20代のとき、三浦さんは格闘技レッスンを受け持っていました。その時に指導者研修として来られたインストラクターとの出会い、レッスンへの取り組み方が三浦さんの仕事に対する向き合い方を大きく変えます。その方の指導は常に笑顔で

三浦さんが目指すパスレルの理想像とは
開館から1年経過したパスレルですが、スポーツやイベント事業を通じて多くの町民に利用していただいています。今、山都町に住む子どもたちがパスレルで得た経験や学びを基に、将来幅広い場所で活躍し、未来の山都町の子どものためにバトンを繋いでいくこと、ご高齢の方がいつまでも元気で好きなことをしてほしい。それが三浦さんの思い描くパスレルの理想像です。



パブリック・シンコース
スポーツ共同企業体
施設長
三浦 浩志さん
熊本市出身 趣味はサーフィンなどのアウトドア系で、家庭では2児の子を持つお父さん。

先日パスレルで開催された防災フェスタの様子は次ページに掲載しています♪



今月の表紙

今月の表紙には新緑に包まれた五老ヶ滝を採用しました。山都町のなかで最大規模を誇る五老ヶ滝は、高さ約50mから一直線に落ちる瀑布で各所から見える眺めは圧巻です。

名の由来は、この一帯を治めていた阿蘇家が朝廷の使者※をもてなした時にこの滝を「ご覧になった」が、「ご覧(ろう)じた」に訛り、五老ヶ滝となりました。みなさんもお時間あるときは、五老ヶ滝まで足を運んでみてくださいね。

※滝をご覧じた朝廷の勅使とは、戦期の天文13年(1544年)に「浜の館」を訪れた烏丸光康さんのことです。



熊本県指定重要文化財
衛藤良行「領内名勝図巻 上益城郡矢部手永之内」(部分)
永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)

目次

- 2 目次
- 3 ～未来を築く人～ No.1
- 4 【特集】防災フェスタ (in パスレル)
- 6 やまとの話題
- 9 まちからのお知らせ
- 14 Yamato Infomation
- 15 福祉だより／保健だより／やまと文化の森だより／山の都移住すまいるセンター通信／わたしたちの人権／SDGs未来都市山都町／矢部高校だより／図書館だより／山都警察署・協議会だより／寄附のお礼(山都町社会福祉協議会)／町長のまちづくり日記／編集後記
- 24 イベントカレンダー／だっこ

町公式ホームページ



最新情報は町公式ホームページをご覧ください。

町の情報発信



公式Instagram
「#my_yamato」のハッシュタグで山都町の写真・動画を投稿してください。一緒に山都町の魅力を発信していきましょう!

人のうごき

総人口	12,651人(－33)
男	6,138人(－14)
女	6,513人(－19)
世帯	6,216戸(－7)
※()は前月比	
令和7年5月 出生者	6人
死亡者	25人
最高齢	106歳〔女性1名〕 (令和7年5月31日現在)

【お詫びと訂正】
令和7年度5月号広報やまとの訂正について
広報やまと5月号2ページ(人のうごき)の掲載内容に一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。訂正箇所は以下のとおりです。

(正) 最高齢 105歳〔男性1名、女性2名〕 (令和7年4月30日)	(誤) 最高齢 105歳〔女性2名〕 (令和7年4月30日)
---	--------------------------------------